

外来種の監視と防除

< 主要施策の取組状況 >

1 外来種の監視と未然侵入防止

- ・アライグマ防除実施計画に基づき、市町村から捕獲情報・目撃情報を収集するとともに、各種調査で設置した自動撮影カメラの撮影記録からアライグマ情報を収集した。自動撮影カメラによる撮影数は0頭であった。

2 侵入した外来種の防除

- ・宮ヶ瀬湖において、外来魚の生息状況のモニタリング調査を行い、外来魚の減少傾向を確認することができた。

3 丹沢産緑化苗木及び緑化手法の検討

- ・堂平においてブナの種子採取を行い、丹沢産の緑化種子生産・苗木の育成を行った。
- ・地域に適した広葉樹苗木の安定的な供給を図るため、母樹候補木からの種子を採種し、発芽率調査等を実施し、丹沢産の緑化種子生産を継続して行った。
- ・平成 24 年度に日向林道改良工事で現地表層土壌を活用した緑化を行った箇所について、モニタリング調査を行い、データ収集をするとともに効果の検証を行った。

○ 外来種の監視と防除の実施状況（平成 25 年度）

外来種の監視と未然侵入防止	侵入した外来種の防除	丹沢産緑化苗木及び緑化手法の検討
・アライグマ防除実施計画に基づき市町村からの捕獲・目撃情報の収集。 ・各種自動撮影カメラ調査による外来種撮影状況の把握。	・宮ヶ瀬湖における外来魚の生息状況の調査。調査活動を通じた防除。	・母樹候補木からの種子採種等。 ・現地表層土壌を活用した林道法面緑化法のモニタリング調査。

緑化試験施工箇所のモニタリング調査の様子



ブナの種子採取状況（堂平）



宮ヶ瀬調査で採集したコクチバス



○ 外来種の監視と防除に関する事業実施場所（位置情報のある事業のみ掲載）

